

## 事業概要

### 1 目的

学生のアルバイト先を確保するための二者マッチング制度を構築する。制度は、事業者の人材不足を解消し、学生の生活基盤の安定を図るだけでなく、地域経済の活性化にもつながる重要な取り組みである。

### 2 内容

市は、事業者から学生のアルバイト募集情報を集約し、学生に提供する。これにより、学生は自分のライフスタイルに合ったアルバイトを見つけやすくなる。

制度を事業者に周知し、人材を必要とする事業者が自ら情報を提供する仕組みを構築することで、事業者側も積極的に人材を求める姿勢を持つことが期待される。

### 3 必要性

#### (1) 学生の雇用機会の創出

学生にとって、地元でのアルバイト先を確保することは、生活基盤の安定に直結する。学生は、学業と両立しながら働くことができ、地域の産業や文化に触れる機会を得ることができる。また、将来的な就職機会にもつながる可能性もあり、地元での経験は、大きな影響を与える。

#### (2) 事業者の人材不足解消

事業者は、必要な人材を確保することで、サービスの質を向上させ、顧客満足度を高めることができる。

#### (3) 学生と事業者のコンネクション作り、地域社会の構築

学生と事業者の関係を強化することで、地域内での相互理解や関係構築が深まる。これにより、地域コミュニティの一体感が生まれ、持続可能な地域社会の構築につながっていく。また、学生が地域の店舗で働くことで、地域に愛着が湧き、将来的に地域に貢献したいという意識を持つようにもなると考えられる。

### 4 実施計画

#### (1) 情報収集と周知活動

事業者に対してこの制度の説明を行い、積極的に参加してもらえるように働きかける。メルマガやチラシを通じて、事業者側のニーズや要望も収集し、アルバイト募集の情報を集約する。

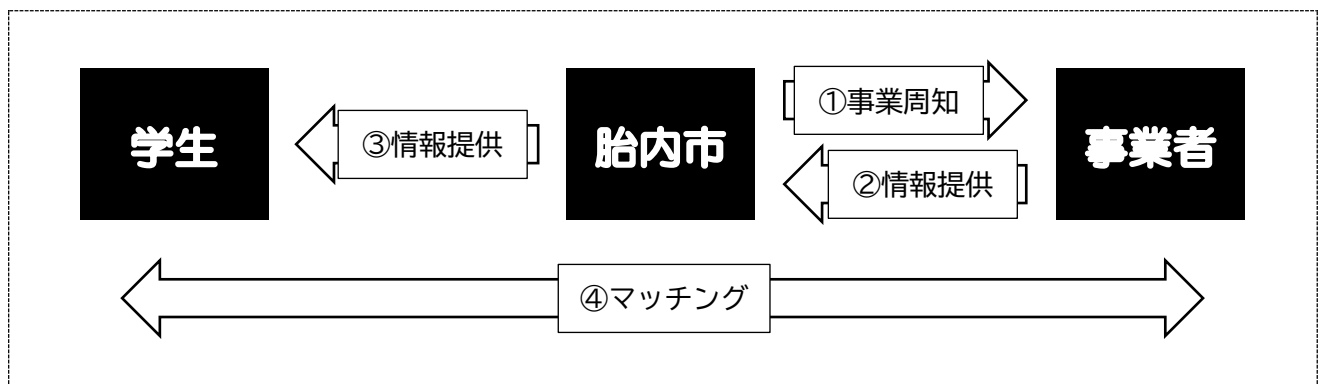
## (2) プラットフォームの構築

事業者から集まった情報を、学生に提供するためのプラットフォームを構築する。市ホームページに掲載するとともに、ページの二次元バーコードを記載したチラシ等を学生に配布して、学生が簡単にアクセスできるようにする。募集情報だけでなく、事業者の紹介や学生の体験談も掲載することで、双方の理解を深めることができる。

## (3) フィードバックと改善

制度の運用開始後、定期的にフィードバックを収集し、必要に応じて改善を行う。事業者や学生からの意見を取り入れることで、より効果的なマッチングができる制度に育てていく。

### 事業スキーム図



- |   |  |
|---|--|
| ① | 市で行っているメルマガやホームページ、商工会会報誌への折込みにより、事業者へ事業内容を周知                    |
| ② | 事業者は、アルバイトの募集情報を市へ提出（別記様式）                                       |
| ③ | 集まった情報を市ホームページに掲載、学生にページの二次元バーコードが記載されたチラシ等を配布して、簡単にアクセスできるようにする |
| ④ | 学生は、アルバイトを希望する事業者へ自ら連絡をする  |